

第5回倉敷市総合計画審議会 第4分科会議事録（要旨）

会 議 名 称	第5回 倉敷市総合計画審議会 第4分科会（保健・医療・福祉）	
開 催 日 時	令和2年7月8日(水) 14:00～16:00	
開 催 場 所	倉敷市役所 7階701会議室	
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	浅野 静子, 兒山 和子, 竹中 麻由美, 難波 朋裕, 三村 英世, 守永 一彦
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	なし
欠席者 ※敬称略	審議会 委 員	武田 晴郎
会 議 次 第	1 開会 2 現況及び今後のスケジュール 3 総合計画について 4 その他 5 閉会	

1. 開会

2. 現況及び今後のスケジュールについて

(事務局説明)

3. 総合計画について

審議

委員	92～93 頁の 4－4 障がい者の項目で、今後の課題に「障がい福祉サービス及び介護者」とあり、その下の項目には「障がい者とその養護者」、その次に「居宅介護事業」と記載している。基本方針の 3 つ目に「虐待防止や障がい者の養護者に対する」と記載があり、その次の項目には「居宅介護等事業」とある。私の中では、障がい者を介護するという考えはなく、養護者と介護者の書き方が混ざっていると思う。
市	主担当者ではないが、代わりに回答する。養護者は障がいがある方を養護するという意味で使っていて、介護者については一般的に生活上で障がい者を自宅で介護している場合に使っているものだと思う。
委員	障がい者の項目では、介護者という言葉を使わないのではないかな。
分科会長	養護の「養」は、児童に対する養護等にも使われる。 障がい者の中に従来 of 身体障がい、知的障がい、精神障がい、加えて発達障がいといったより細かな対応を求められている。それぞれの担当で用語の使い方に違いがあるので整理をして頂きたい。
分科会長	この総合計画は「わかりやすい」が 1 つのキーワードであるが、法律上正しい言葉でも、少し検討が必要な場合もあるのではないかなと思う。
委員	98 頁の 4－7 高齢者の項目で、特別養護老人ホームの入所申込者に関して記載があるが、待機人数が 2,074 人ではないのか。入所申込者の解消ではなく、待機人数解消の方がじっくりくると思う。
市	担当部局では「入所申込者」とされていたが、審議会委員から、わかりにくいという意見があったことを伝える。
委員	入所申込してはいけないのかとを感じる。保育所は待機と言っているが、同じ意味ではないのか。
分科会長	待機者は複数の申し込みが可能で、待機人数＝申し込み人数ではないので、そこを意図して使っているのではないかなと感じたが、やはり耳慣れない言葉ではある。
委員	平成 31 年 4 月現在で記載されている 2,074 人の入所申込者というのは入れなかった人ということか。
委員	よく聞くのは早めに申込をしておく必要があるなので、施設を 2～3 ヶ所申し込んでおり、どのようにカウントするかがポイントだと捉えている。重複している人を減らすのか、健康寿命増進という意味で、トータルの入所を減らしたいのか、どの範囲を示しているのかわかりにくいと思う。市としては、重複の申込を減らしたいのか、申込（待機）の総数を減らしたいのか。

市	担当部局に確認して、表現を整理する。
委員	<p>2,074人という申込の数字について、市の人口動態に照らすと多いのか、少ないのか。また、この項では「特別養護老人ホーム」と記載しているが、今後の施設整備を検討するにあたり、施設の種類や数、利用者数の見通し、人口減になった場合はなど見通したものが欲しいと思う。</p> <p>98頁の4-7では、「医療」についての視点が欠けているように感じる。高齢になると医療と介護は切り離すことができなくなるので、地域として医療と介護をどう関係構築していくのかは重要な視点だ。地域の中核的な病院は介護施設に出向いて連携サービスを提供していて、このようなことが記載されていても良いのではないか。</p> <p>前回の会議でも話に出たが、外国人についてはどうか。今後の労働力として、どのようなつきあいをしていくのか。今後10年の総合計画において、市の取組、SDGsも含め、外国人への視点がもっと大きくあってもよい。どこに入れるかは検討してもらった必要があるが。</p>
市	<p>外国人については、まず、28頁の1-1で、多文化共生や交流を進めていく上での仕組みづくりにもふれている。また、54頁の2-5の多様な人材の働く機会、という項目にも含んでいる。</p> <p>他に、地場産業等の後継者不足という面とか、医療・福祉分野については、など外国人に関係する項目は多岐にわたり、市としてまだ定まっていなかったところがある。</p>
委員	<p>これからの時代、外国籍の方を地域で受け入れないといった考え方は通らないと思う。そういった方々が倉敷市に根付いていってくれることを含めて、基本的な考え方を目配りすべきではないか。</p>
分科会長	<p>「だれでも」という中には、外国人の方も含まれ、医療、介護等様々なサービスを受けられる環境が根づいてもらえることが大切ではないかと思う。</p>
市	<p>地域で暮らす外国人は今後ますます増えてくると思う。そうした現状を受けて110頁の課題4では相談窓口についてもふれているし、市内のワーキンググループでも研究している。しかし、計画の中で、医療・介護・福祉など、どこまで書き込めるかは正直難しい。</p>
委員	<p>外国人労働者は働いて納税しており、言葉のハンディなども含め、目配りせず取り残してしまうことは不平等で差別につながる。</p>
分科会長	<p>全体の大きい中で入れていただければよいと思う。</p>
委員	<p>89頁の基本方針2で、「企業、関係機関等と連携して」とあるが、具体的にどこかがわかりにくい。87頁の健康づくりボランティアという書き方のようにわかりやすくしてほしい。</p>
分科会長	<p>同じ89頁の基本方針2の項で、バランスの良い食事ができていないことから、生涯を通じて健康に関する環境整備を行うために、学校、企業、関係機関等と連携することは読みとれるが、誰が何をするのかわかりにくい。</p>
委員	<p>食生活の大切さなどについて、学校や企業など様々な啓発活動を行っている。男性にもぜひ興味をもってほしい。</p>

分科会長	<p>それなら 89 頁, 基本方針の 2 の項は, 「子どもの頃からバランスのとれた食生活の意識づけを図るとともに, 学校, 企業, 関係機関等と連携して,」の後に, 「生涯を通じて」といった年代を拾う言葉を付け加えてはどうか。</p> <p>また, 88 頁の現状の 4 つ目, 「食べ残しや食品廃棄等」に対して, 課題は「学校給食や教科等」とあるが, 食品ロスはコンビニやスーパーなど, 学校給食だけではない大きな話があってもいいのではないかと。</p>
委員	<p>学校に責任をすべて押し付けているように感じるが, 食に関しては家庭での問題ではないかと思う。</p>
委員	<p>子どもが朝ごはんを食べないから, 先生が家まで行き, 食べさせていると聞いた。朝, 起こすために家へ行く先生もいると聞く。それは親のやることではないか。</p> <p>今は食事を作らない家庭も多く, 家に包丁がないため, 親子の料理教室でも包丁が使えない親もいて, どうしたら食育知識を広げられるかが課題だ。小学生が自分で簡単な朝食が作れるようにしていきたい。</p>
委員	<p>食品ロスは家庭のことだけではなく, コンビニ等の廃棄問題等も含めてもっと大きな括りの話ではないかと思う。</p>
委員	<p>子どもには食育という教育が必要だが, 大人や事業者向けにも指導をしっかりとっていく必要がある。日本は食品ロスの割合が高い。この 4 行の文章でさまざまなことを盛り込むことは無理があるが, 検討は必要だと思う。</p>
分科会長	<p>広い食品ロスというのが大事ではないか。</p>
委員	<p>例えば, コンビニが季節商品を予約制にすると廃棄が少なくなったりすると聞くので, そういった企業への取組も検討していただきたい。</p>
市	<p>88 頁の基本目標 4-2 は, 学校教育のなかで食育も含めて環境への影響についても配慮していこうとする部分で, 大きな食品ロスの話は第 3 分野の生活環境の内容に入ってくる。この書き方では全部の問題を考えるような形になっているのできちんと問題を分けて整理していきたい。</p>
分科会長	<p>整合性を保つために分けてもらえるとよい。大事なポイントだ。</p>
委員	<p>今, 記載されている「現状」「今後の課題」について, 製本した計画冊子になったときはどういう扱いなのか。</p>
市	<p>このような形で掲載予定のため, しっかりご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>86 頁の現状 5 では, 社会環境のデジタル化が悪いことのような印象を受ける。今の時代, デジタル化は当たり前で, コロナ禍の中, もっと進めていくべきことであり, 言い回しを工夫してほしい。</p>
分科会長	<p>マイナス要因を減らすための取組としての記載が必要と思う。</p>
市	<p>デジタル化が進むことによって子どもたちに与える影響を具体的に入れないとわかりにくいと思うので, 検討する。</p>
分科会長	<p>その中の健康部分を取り上げるとわかりやすくなると思う。</p>

委員	今のコロナ禍の中で、外国ではネットで授業が行われていたりするが、日本はできておらず、遅れが浮き彫りになっている。デジタル化はもっと進まないといけない。子どもたちにはもっときちんとしたネット環境を用意する必要がある、言葉を変えた方が良いのではないか。
委員	デジタル化だけが原因ではなく食生活も関わってくる。
委員	この頁に体操とあるので、家でできる方法を情報として受け取り、自分で消化して、体力増進につなげていく方向性の方がわかりやすい。
委員	86 頁の現状 4 の自殺対策の項目で、現状と課題の整合性がない。課題で急に高齢者の支援や大災害の被災者支援という言葉が出てくるのは違和感がある。
分科会長	86 頁の現状では「働き盛りの男性」と書かれていることが、課題の「就労における問題への対策」につながるのだと思う。それなら、課題のその部分を「働きざかりや若年層などあらゆる男性への対策」とすれば、そこはつながるのではないか。(いろいろと整理が必要)
委員	90 頁の課題 1 の市民病院の項で、「院内保育所の運営が必要」が突然出てきてつながりがわからない。現状と課題が合っておらず、市民病院としての市民への役割を書く方がよいと思う。
分科会長	<p>総合計画なので、書き方が漠然としすぎてはいけないし、あまりにも具体的、ピンポイント過ぎてはいけない。</p> <p>違和感のある表現として、たとえば、92 頁の 2 項目目、現状の「福祉的就労」はよいが、課題には「発注額の増加を図る必要」とある。総合計画としてそぐわないのではと感じる。</p> <p>また、例えば、現状にある就労に関して企業側に理解が必要という重要な事項と一緒に並ぶとわかりやすいのではないか。</p> <p>86 頁の課題 4 「就労における問題への対策」が、働き盛りの男性に対しての記載だとは思いますが、ここでも課題に対するつながりと言うと働き盛りの男性や子ども、若年、あらゆる層への支援という言葉を入れる方が良いのではないかと思った。</p> <p>市民病院の項については、医師の働き方改革も言われている中で、「医師等が働きやすい環境を整えることは市民の求める適切な医療につながる」という書きぶりがあってもよいと思う。</p>
委員	96 頁の現状 4 「一人暮らしの高齢者の増加」に関連して、孤独死の問題がある。まちなかに住んでいると孤独死の話は耳に入ってくるので、そこもひとつの課題ではないかと思う。
分科会長	<p>96 頁の 4－6 で、めざすまちの姿が「高齢者」でなく「高齢者世帯」という表現なのはどうか。「高齢者」でも意味は通じると思う。</p> <p>また、認知症に関しての記述は適切と思うが、例えば 96 頁の現状の 6 つ目に、終末期を例に「介護が必要になった時」といった記述や「病気になるっても」といった表現が見受けられ、予防という言葉を強く打ち出すと認知症を発症することがネガティブな意味に感じられる。認知症を発症したとしても幸せに暮らせる地域であるといった視点を入れてもらえればと思う。</p> <p>同じく認知症について 100 頁に認知症になる最大の原因は「閉じこ</p>

市	<p>もり」とあるが、どこからのデータか。悪化させる要因の「閉じこもり」はわかるが、最大のとなると異なってくると思う。最大ならどこに書いてあったのか教えてほしい。また、「寝たきり」と行政では使うのか。</p> <p>データについてははっきりしたことが言えない。「寝たきり」という表現についても、詳しくはわからないので確認する。</p>
分科会長	<p>寝たきりという言葉を使わなくても、生きがいをもって元気なという意味をもたせるなど、言い方を工夫してほしい。</p>
分科会長	<p>全体を通して、他に何かないか。</p>
委員	<p>健康づくりは大切で、国も福祉、医療の経費を減らすために推進しているが、市として取り組んでいくなかで、数値目標や指標を設定して、健康の見える化を図るべきではないか。</p>
委員	<p>「健康くらしき21」の取組の中で、目標値をもっていろいろな事業に取り組んでいる。目標の考え方も、たとえば「孤食でない人を増やそう」現在1割を目標3割に、というとなかなか増えない。</p> <p>そこで、最近、逆の発想で「孤食の人」を現状30%から10%に減らそう、なら目標に近づきやすいのでは、と取り組んでいるところだ。</p>
委員	<p>わかりやすい健康ポイントなど、興味をもってもらえるようアピールするとよいと思う。</p>
分科会長	<p>自分の身近に考えられないと皆さんピンとこないので、身近な取組みがよいと思う。</p>
委員	<p>少し厳しいことを言うようだが、たとえば、92頁、4-4の現状6は、一般市民が読んでイメージできるのか。</p> <p>また、94頁の4-5、現状3の「増加する可能性が高まる」という表現はこれでよいのか。</p> <p>全体として、まだまだ文章がたたきこまれておらず、あれ、という文章が散見される。「現状」、「今後の課題」、「基本方針」の内容がそろっていない箇所も多く、文章内容をもっと精査してほしい。</p>
分科会長	<p>一般市民の方に「わかりやすい」という目線も含めて、ぜひブラッシュアップしていただきたい。</p> <p>委員の皆様も、他に細かい点など気づいた点があれば、書面で事務局にお知らせいただければと思う。</p> <p>本日は限られた時間の中、しっかり読み込んで、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p>

4. その他

次回の日程について

5. 閉会